

リビングラボ

NEWS LETTER 1

2月18日土曜日の午前、アンフォーレ3階の健康支援室・講座室にて、安城のまちをもっと素敵でもっと魅力的なまちにしていくための未来志向の対話の場「あんじょう協働リビングラボ①」を開催しました。参加者は、35歳以下を中心とした市民・市職員に事務局スタッフを含め29人でした。

初回となったこの日のテーマは「SDGs カードゲーム&仲間づくり」。まずは、対話の場をよりよく進めていくため参加者どうしの関係づくりからスタート。次にSDGsの基本について少し学んだあと、2030SDGsゲームをプレイ！休憩を挟んで、ゲームを通して得た気づきをグループで共有したあと、SDGsの本質や可能性、協働について学ぶレクチャー。最後に全員でくま座になり、この日得た気づきや学びを分かち合いました。

1. あいさつ



このリビングラボは、クリエイティブな話し合いを行い、5回の開催の中で課題解決のための社会実験などの実践も行っていく企画になっています！

市民協働課 長谷課長

2. SDGsとは？



SDGsは、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成する行動計画です。

実は、採択文書の正式名称はコレ

「Transforming Our World」

= **「私達の世界を変革する」。**



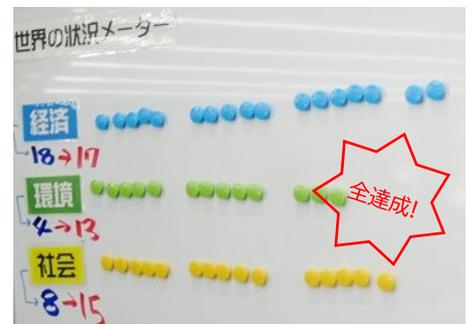
ファシリテーター TAKEZO

3. 2030 SDGsゲーム

お金と時間を使ってプロジェクトを行い、2030年までに人生(チーム)のゴールと世界のゴールの達成を目指して活動するゲーム。



様々な価値観を持つ人(チーム)が、助け合ったり交渉したりして各々のゴールを目指し…



2030年には全チームゴール達成！
中間発表時には課題が残っていた、世界の「環境」と「社会」の状況も、2030年には、劇的に改善！バランスのとれた豊かな世界になったね！

チーム数	12
前半	8/12
後半	12/12

4. ゲームふりかえり～つながっている世界

ゲームを通して得た気づきをグループで共有したあと、SDGsの本質や協働についてのレクチャーを聞きました。



SDGsの本質は「世界はつながっている」そして「私も起点」ということ。また、世界が目指す目標を「見える化」し、共有することで意識や行動が変わる！



協働を一言で言うと「ONE TEAM」。それぞれの良さや強みを持ち寄り、共に考え行動すれば未来は変えられる！

5. ハーベスト

1人ずつ、気づきや学びを発表。この日に得た「収穫」を分かち合いました。

話すとは広がる
と実感！

小さなこと
から続けて
いきたい！

世界の一員という自覚を
持って少しずつ行動を起
こしていきたい！

生活の中では、
求めすぎないこ
とが大切かな。

他に目を向けるため
には、安心感をつくっ
ていくことが必要！

時間がなくてもできる
ことはある。時間がな
い人にどうしたら関わ
ってもらえるか考えて
いきたい！

周りの人の価値観、
強みを知ることは
大事。協力する数が増
えていくと可能性が
広がる！

たくさんの
気づきがあ
った。傾聴
は大事！

同じ目標を
共有するこ
とが大切！

それぞれの得意なこ
とを活かしていける
といい。積極的に動
いていきたい！

もっと周り
を見て、行動
を意識して
いけたら。

協力は大事。子
ども達にもこの
ようなゲームが
できたらいい！

視覚化、数値化がみ
んなの意識を共通の
ゴールへと導いてい
く。つなぐ人の見え
る化も大事！

「課題を発信する力」
「それを受け取る力」
「コーディネートす
る力」があることで
ワンチームで課題が
解決できる！

自分ができること
から始めることが
大切。もっといろん
な人に伝えられた
らいい！

何をしてほしいかわか
ることが大事。コミュ
ニケーションをとって
生活していきたい！

ポリシー、強い
信念を貫く生き
方がしたい！

声かけをで
きる人にな
りたい！

できること・できな
いことがあるので、
助け合いが大事！

働かなきゃいけない
という考え方を手放
し、得意な所に仕事
を提供すればいい！



弱みは自分か
らは言い出し
にくいので、他
の人から声を
かけてあげる
配慮が必要！

相手を理解すること、譲り合
いが世界を良くしていく！

時間経過はあっ
という間。やり
たいこと、やら
なきゃいけない
ことはどんどん
やっていきたい

声をかける人が後半に増え
てきた。まさに「協働」だな
と思った！

今日のゲームがよい結果になった要因の1つは、コミュニケーションがうまくできてきたことではないかと思えます。「発信する力」、「受け取る力」、「コーディネートする力」がいかに発揮されていた。もう1つの要因は、皆さんが異質な価値観を持ったバランスのとれた集まりだから。今日皆さんは協働の原点の対話を体験しました。対話があってこそ協働が生まれ、違うものが結びついてこそ、協働の価値が生まれると感じました。



地域問題研究所
カトゥーン

【発行・問合せ先】

安城市役所 市民協働課

TEL 0566-71-2218

✉ kyodo@city.anjo.lg.jp

※8:30~17:15 (土日祝日を除く)